

和合

No.155
2023.11.1

題字：三浦修次



主な掲載記事

- 和合の里あれこれ……………2
- はやぐおっきぐなれの～！…3
- 我が家の民俗行事……………3
- よつばっこ通信……………4
- わたしが描く和合の里…5
- わたしから見た和合の里…5
- 畑にこんにちは……………6
- 和合の里の取り組み……………6
- 人生100年時代……………7
- わごう駐在所……………7
- 和合の里 INFORMATION…8

和合の里 あれこれ

【南野編】

①南野のなりたち

南野の開村は、元和元年（1615）と伝えられています。かつては連枝の西方にあり、明石村と呼んでいましたが、最上川で洪水が起こる度に耕地が決壊しておりました。慶長17年（1612）に立谷沢川の水を引いて北楯大堰が開削されたことをきっかけに、川欠けの心配が少なく水利のよい大堰の近隣を開拓して移り住み、これが現在の南野となりました。

②稲荷神社例祭



俵神輿を担ぐ子ども達（稲荷神社例祭）

おくらいなり
御蔵稲荷とも呼ばれるこちらの神社では、9月3日に五穀豊穡を祈願して例祭が執り行われました。この稲荷神社は江戸時代頃に建てられたと言われていいます。正徳2年（1712）の御みずぢょうおくらやしき水帳によるとこの地に御蔵屋敷が設けられていたことが記されており、御蔵に収納した年貢米を無事に上納できるよう稲荷様に祈っていたことが伺えます。

これまでの3年間は、新型コロナウイルスの流行を理由に例祭を開催できずにいました。今年はいよいよ俵神輿を担ぐ子どもたちの元気な声が響き渡りました。

③地蔵祭り



子安観音



ロープ相撲

新町の子安観音では9月5日に地蔵祭りが開催されました。以前は子どもたちの相撲大会などが行われ、多い時では200人ほどの人で賑わいました。現在は子どもたちの数も減り、行われるゲームもロープ相撲や輪投げなどに変化しています。

参加した子どもたちには賞品としておもちゃなどが配られ、さっそく遊ぶ姿が見られました。今後も楽しんで地域の交流を図れる企画をしていきたいそうです。

④老人クラブ

南野老人クラブでは神社境内の清掃活動や花壇の管理などに取り組んでいます。現在136名の会員が加入しており、会長・副会長・理事の14名が中心になって活動しています。今年の夏は雨が少なく、厳しい天候が続きましたが、花壇の手入れを続け、見事なヒマワリを咲かせることができました。10月には芋煮会を行い、11月から12月にかけて役員研修会や忘年会が開催されます。



老人クラブで育てたヒマワリ

パパとママにインタビュー

はやぐおっきぐなれの～！



おとさか いちか
乙坂 一楓ちゃん

(小出新田)

令和4年10月6日生まれ

パパ：郁弥 ママ：美咲

- 1 「一」番に可愛く「楓」の木のように美しく変化（成長）して欲しいと思い一楓とつけました。
- 2 ジャンボリミッキー！を流すと元気になります♪ニコニコして両手を上下に振って楽しそうにしてくれます(*^^*)
- 3 一気に出来る事が増えた事ですね！伝い歩き・パチパチ・1人遊びも上手になってきて成長の速さに驚いてます★！
- 4 寝かせるつもりが一緒に寝てしまい気づいたらこんな時間！！なんて事が……
- 5 元気にすくすく成長してね！お兄ちゃん2人とも仲良く♡歩いてお買い物も楽しみだなー(◡_◡)



Q1 名前の由来は？ Q2 今一番の興味やはまってることは？ Q3 最近記憶に残ったエピソードは？
Q4 パパママの失敗談（子育てあるある） Q5 パパママからのメッセージ

我が家の民俗行事 【背負い揚げ】



令和4年度 阿部亀治の背負い揚げ

農作業がまだ機械化されていなかった時代は、人の手で収穫した稲を背中に背負って道路まで運び、荷車に積み上げていました。この稲揚げと呼ばれる作業が終わることを「背負い揚げ」と言い、稲刈りが終わったことを祝って、当時は最高の御馳走と言われていた鮭の切り身やつきたての餅を用意して労をねぎらいました。

現在でも、稲刈りが無事に終わったことを祝って、料理やお酒を振る舞い、背負い揚げの会が行われています。



余目第四幼稚園



よつばっこ通信



秋といえば… 運動の秋！！



運動会に向けていろいろな運動遊びにチャレンジしている子ども達！初めは“できないからやらない”と諦める姿が多く見られました。しかし、“ちょっとやってみようかな…”と取り組んでいくうちに“あれ？なんだかできそう！”“やったー！できたぞ！！”と喜びや達成感を味わったり、自信をつけてきています。そのことが力になり、初めての運動遊びや苦手な事にも自分からチャレンジする姿が出てきています。



それっ！！
5段も跳べるよう
になったよ！

走り縄跳びで
競争だ～！



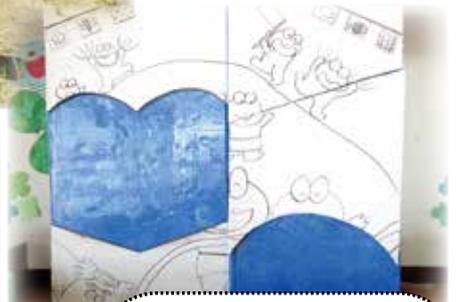
大きい組さんはリレー
にも取り組んでいます！
負ける悔しさを経験
して、個人練習する
子もいます。



ただいま大玉転
がしの準備中～



小さい組と大きい組がペアになって
黄色がえるチームVS緑がえるチーム
の対決も楽しんでいます♪



今年度の運動会のテーマ
は「**33匹のかえるの
元気いっぱい運動会！**」
入場門にはかえるの絵が
描かれたパズルピースを
貼っています。子ども達
が運動遊びを頑張ると、
このパズルピースが登
場！励みになっています！

余目第四小学校 6年生 わたしが描く和合の里



ぼくの描く「和合の里」は、自分からあいさつができて、周りの人が笑顔になる場所です。そのために、地域の人や先生、親などにもあいさつを自分からして、その経験を積み重ねて、自然豊かで笑顔あふれる和合の里にしたいと思います。



ぼくは、明るく元気なあいさつができる和合の里にしたいと思います。理由は、あいさつはできているけど、あまり元気がない気がするからです。そのために、ぼくは自分から明るい元気なあいさつができるようにしたいと思います。



わたしは、「あいさつ自まん」の和合の里になってほしいです。そのために、自分からあいさつをして、下の学年にお手本になるようにしたいし、学校の中で大きな声でのあいさつをよびかけて、あいさつがあふれる和合の里にしていきたいと思いました。



わたしが描く「和合の里」は、あいさつがたくさんあふれる場所です。そのために自分からしっかりとあいさつをしたり、運営委員の活動でもあいさつの活動をしたりたいです。明るいあいさつがさくさんある和合の里になるためにがんばりたいです。

わたしから見た 和合の里



庄内町立余目第四小学校
教頭 正木 守貴

余 目四小にお世話になり、半年が過ぎました。四小は、和合の里の方々から支えられている学校であることを感じる毎日です。本当にありがたいことだと感謝しております。

子どもたちの登下校を見守っていたいたり、楽しい読み聞かせをしていたいたり、畑に植える苗をいただいたり、校地の樹木を剪定していただいたり、手植え体験した後に田植え機に乗せていただいたり、等々。数えきれないほどのご支援をいただきました。

和合の里の皆様のおかげで、子ども達はのびのびと育っています。明るく元気な「子どもらしい子ども」がいっぱいいます。人なつっこい子、優しい子、あいさつが上手な子もいっぱいいます。私も微力ではありますが、和合の里の子ども達のためにがんばってまいります。

これからも、四小の教育にご支援・ご協力よろしくお願いいたします。

畑にこんにちは！

門脇 ^{ゆう}有さん、^{しん}信さん（前田野目）



9月も後半に入りようやく涼しい風が吹き始めた頃、今回は門脇有さんとお母さまの信さんの畑にお邪魔させていただきました。

畑に伺うとさっそく草取りに勤しむ信さんの姿を発見。夏の暑さの中でも熱心に草取りに励んでいたようで、近所の方からも「畑、きれいだのー」とほめられご家族も助かっているそうです。

現在の畑にはナス、オクラ、パプリカ、枝豆、サツマイモ、ラッカセイ、バジル、ハラペーニョ、大根などの野菜のほか、ブラックベリーが植えられていました。いろいろな人から野菜の種や苗をもらうので、いつの間にか畑は様々なものでいっぱいになります。有さんにいつから畑作りをしているのかお聞きしたところ、仕事を退職された4年位前からで、信さんが高齢になり畑をすべて管理するのが難しく



なってきたタイミングと重なって始めるようになったそうです。

畑作りをしていてうれしいと感じるのは、家族や知人に自分の作った野菜を喜んでもらえることだそうです。基本的には自然に任せて無理をせずに畑の世話をしているという有さん。今年の夏は気温が高く雨も少なかったため、信さんがサトイモだけは水やりに気を配ったそうです。

有さんはコーヒーを淹れるのが趣味で、朝食後と昼食後に毎日豆を挽いて飲んでいます。自家製のブラックベリージャムをかけたヨーグルトやバジルソースとハラペーニョピクルスを使ったピザトーストも門脇家の定番になっています。

これからは収穫したサツマイモで焼き芋を作るのを楽しみにしているそうです。今回はお話を聞かせていただきありがとうございました。



和合の里の取り組み

8月1日に庄内町で「花のまちコンクール」が開催されました。このコンクールは町内の街路、交通島、花壇等を花で飾り、地域の快適な環境作りと景観の美化及び町民のまちづくりへの参画を目的としています。

一般団体部門で「吉方自治会・いきいきサロン植栽部」が第1位に、拠点団体部門で「廻館・名木保存会」が第1位にそれぞれ入賞いたしました。



吉方の花壇



廻館の花壇

た。今年は厳しい暑さが続きましたが、美しく彩られた花壇の様子から、毎日丁寧にお世話をしてきた様子が伝わってきます。

人生100年時代

インフルエンザを予防しよう!! ～5つの予防方法について～

庄内町保健福祉課
健康推進係 はるな
保健師 本間 榛名



インフルエンザに感染すると、38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、全身倦怠感等の症状が比較的急速に現れます。また、小児ではまれに急性脳症を、高齢の方では肺炎を伴うなど重症になることがあります。そのため、インフルエンザにかからないように今回は5つの予防方法について紹介します。

1. ワクチン接種

ワクチンは、感染後に発症する可能性を低くする効果と、発症した場合の重症化防止に有効とされています。ワクチンの接種を希望される方は、早めに接種をしましょう。

2. 外出後の手洗い

流水・石鹸による手洗いは手についたウイルスを物理的に除去するのに有効な方法であり、感染を予防することができます。



3. 適度な湿度の保持

空気が乾燥すると、気道粘膜の防御機能が低下し、インフルエンザにかかりやすくなります。そのため、加湿器などを使用し適切な湿度（50～60％）に保つことが効果的です。

4. 十分な休養とバランスの取れた栄養摂取

体の抵抗力を高めるために、十分な休養・栄養・睡眠を心がけましょう。

5. 人混みを避ける

流行時には、特に高齢の方や基礎疾患のある方、妊婦、体調不良の方は人混みへの外出を控えましょう。やむを得ず人混みへ外出する場合は、マスクを着用し、感染対策に努めましょう。（参考：厚生労働省ホームページ）



庄内警察署
後藤 紘
(第四学区担当)

わごう駐在所

～庄内警察署からのお知らせ～

秋以降は、夕暮れ時から夜間にかけて重大な交通事故が多発する傾向にあります。

車や自転車の運転手も、歩行者も、みんなで協力して交通事故を防ぎましょう。

運転手の方へ

- 午後4時台からの早めライト点灯! (スマートライトPM4)
- ハイビームの積極的な活用!
- 「前後左右、目配り運転!」で歩行者等の見落とし防止!



歩行者の方へ

- 夕方以降は明るい衣服と夜光反射材を着用!
- 横断歩道がある場所では、横断歩道を渡りましょう!
- 横断前と横断中の左右の安全確認!



和合の里振興計画後期実施計画策定

和合の里振興計画（平成31年4月総会議決）の基本構想をもとにした実施計画も中間の5年目となり、これまでの振り返りと併せて、向こう5ヶ年の実施計画を策定する必要があることから、後期実施計画の策定を行いました。



地域啓発標語

今年も余目第四小学校のみなさんから多くの作品をご応募いただきました。優秀作品は余目第四まちづくりセンター前に看板として掲示されております。

和合の里あるき 健康ウォーキング 2023

9月16日から10月15日にかけて行われた健康ウォーキング事業では多くの方からご参加いただきました。



松の木の剪定

和合の里を創る会では、環境整備の一環として余目第四小学校の松の木の剪定作業を行いました。

剪定されたことで松の木もすっきりとした姿になりました。



編集後記

暑かった夏がようやく過ぎ去り、庄内各地では稲刈りが最盛期を迎えております。「和合」が発行されるころには、稲刈りが無事に終わりほっとしている農家さんも多いのではないのでしょうか。今年も残りわずか。頑張っていきましょう。